

「どさん子体力アップ強調月間」趣意書

体力は、人間の発達・成長を支え、生涯を通じて生き生きとした生活を送るために必要不可欠なものであり、子どもたちの「生きる力」を育む上で極めて重要な要素となるものです。

また、これまで経験したことのない人口減少・少子高齢社会を迎える中、本道がこれからも、すべての道民にとって夢や希望をもって健やかに暮らすことができるふるさとであり続けるためには、未来を拓く人材を育成することが必要であり、その基盤となる子どもたちの体力を向上させていくことは、本道の発展のためにも重要です。

本道の子どもたちには、日常的に運動に取り組む時間が少ないなどの課題があり、これまでの市町村教育委員会や学校における、子どもたちの体力・運動能力の向上に向けた取組に加え、学校、家庭、地域、行政が一体となって、子どもたちの体力づくりを進める機運を高め、道内すべての地域において、子どもたちの運動習慣の定着に向けた取組をより一層推進していくことが大切です。

このため、北海道及び北海道教育委員会は、国の「体力づくり強調月間」に合わせて、毎年10月を「どさん子体力アップ強調月間」として設定し、道民の皆様のご理解のもと、道内各地域において、運動やスポーツの楽しさを実感できる機会の充実を図るとともに、体力づくりに向けた継続的な取組を広く普及啓発することなどを通じて、子どもたちが日頃から運動やスポーツに親しみ、体力向上に取り組む環境づくりを進めていくこととしました。

道民の皆様におかれましては、本趣旨を御理解いただき、学校、家庭、地域、行政など、教育に携わるすべての人々の連携のもとで、子どもたちの運動習慣の定着に向けた具体的な取組を、より一層推進していただくようお願いいたします。

平成 28 年 3 月

北 海 道 知 事

高橋 恒久

北海道教育委員会教育長

柴田 達夫